

学 科	保育臨床専攻	担 当 教 員	別府 祐子 (実務経験あり)		
授 業 科 目	音楽指導法特別演習 I	科目区分	専門科目	2 単 位	
必修・選択	必修	授業形態	演習	開 講 時 期	1 年次・通年
授業の主題 標 目	<p>(1) 幼稚園教育要領・保育所保育指針，幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された表現のねらい及び内容をおさえた上で，近年の保育実践の動向や，既存の音楽メソッド等をふまえて，より広い視点から，音楽に係る表現の多様なあり方を捉え，表現活動についての知見を深める。</p> <p>(2) これまでの学修を基礎として，乳幼児の発達に即し，主体的・対話的で深い学びが実現する過程をふまえて，より応用的・発展的に表現活動の具体的な指導場面を想定し，保育を構想・計画・指導・実践する力を強化する。</p>				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 表現のねらい及び内容についての確認 2. 乳幼児の発達と音楽的表現（具体的な事例や映像からの考察を含む）と指導の留意点 3. 幼児期の表現活動と小学校の教科との学びの連続性について 4. 「聴く」ということについての視座 5. 「自然環境の中の音」教材研究（1）春の音 6. 乳幼児の歌唱表現について 7. 乳幼児の歌唱指導について／指導案の立案（1）歌あそび（既成の曲を用いて） 8. 模擬保育（1）歌あそび（既成の曲を用いて） 9. 模擬保育の振り返り／指導案の立案（2）歌あそび（歌をつくる活動を取り入れて） 10. 模擬保育（2）歌あそび（歌をつくるという活動を取り入れて） 11. 模擬保育振り返り（録画映像による）／小括（乳幼児の歌唱表現とその指導） 12. 「自然環境の中の音」教材研究（2）夏の音 13. 音楽と動き／指導案の立案（3）音楽と体の動きによる表現を取り入れた遊び 14. 模擬保育（3）音楽と体の動きによる表現を取り入れた遊び 15. 模擬保育の振り返り／前期のまとめ 16. 最近の表現の指導法の動向について 17. 表現活動における情報機器及び教材の活用について 18. 音環境のデザインについて 19. 音の科学的理解・楽器の構造や仕組み（楽器づくりを通して） 20. 乳幼児と楽器とのかかわりについて 21. 「自然環境の中の音」教材研究（3）秋の音／指導案の立案（4）楽器を用いた遊び 22. 模擬保育（4）楽器を用いた遊び 23. 模擬保育の振り返り／わらべうたについて 24. コダーイの音楽教育について／指導案の立案（5）わらべうたを用いた遊び 25. 模擬保育（5）わらべうたを用いた遊び 26. 模擬保育の振り返り／オルフの音楽教育について（1）概論 27. オルフの音楽教育について（2）オルフ楽器の活用について 28. 自然環境の中の音」教材研究（4）冬の音 29. 音を描く活動について 30. 日本における乳幼児の音楽教育の史的変遷とこれからの表現の指導のあり方 <p>定期試験は実施しない。</p>				
実務経験を 活かす内容	<p>中学校音楽教諭としての実務経験を生かして，音楽に係る多様な表現のあり方や，豊かな表現を引き出すための指導法について，実践的な教育を行う。</p>				
テ キ ス ト 教 材	<p>石井玲子編『実践しながら学ぶ 子どもの音楽表現』保育出版社 内閣府『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』，文部科学省『幼稚園教育要領』，厚生労働省『保育所保育指針』 上記テキスト以外にも，適宜，参考書を紹介する。</p>				
準備学習の 具体的内容	<p>テキストによる予習・復習を行う。 指導案作成や模擬保育を実施する授業回には，準備学習として教材研究を行ってくる。</p>				
評価の方法 基 準	<p>ポートフォリオ（全授業を通して学びの内容をまとめたもの）70% レポート課題 30%</p>				
履 修 上 の 注 意	<p>事前準備をしてから，授業に臨むこと。</p>				